

伊勢市デジタル行政推進ビジョン 概要版

社会的背景

デジタル技術の急速な進歩や、多様・大量なデータ流通の進展に伴い、国は誰もがデジタルによる恩恵を受けられる社会の形成を推進し、デジタル社会のビジョンとして「デジタルの活用により、一人ひとりのニーズに合ったサービスを選ぶことができ、多様な幸せが実現できる社会～誰一人取り残さない、人に優しいデジタル化～」を掲げました。

行政サービスにおいては、新型コロナウイルス感染症の影響を受け、高品質かつ柔軟であることが求められており、人口減少が懸念されている中で安定的な行政運営を確保しながら、利便性の高いサービスの提供を進めていく必要があります。

国

県

デジタル社会の実現に向けた重点計画
(官民データ活用推進基本計画)

みえデジタル戦略推進計画
(都道府県官民データ活用推進計画)

自治体DX推進計画

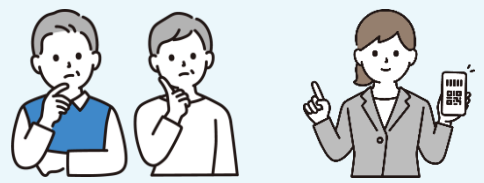


伊勢市デジタル行政推進ビジョン

基本理念



～利用者目線で作るデジタル行政～
市民に優しく、暮らしを便利に



行政サービスのオンライン化・デジタル環境の整備等を推進し、デジタル技術を活用しようと思える価値の創出を目指します。推進に当たっては、利用者に優しいUIの設計を心がけるとともに、市民のデジタルリテラシーの向上にも取り組みます。また、事務の高効率化・高品質化を図りながら、セキュリティ対策を徹底することで、安全・安心を感じられる行政運営の実現を目指します。

ビジョンの位置づけ

第3次伊勢市総合計画の分野別計画に位置づけられ、官民データ活用推進基本法第9条第3項に基づき、「市町村官民データ活用推進計画」としても位置づけます。(策定努力義務)

また、国が定める「自治体DX推進計画」に示される重点取組事項等に対する市の基本方針等を定めるものです。

基本方針

デジタル技術を活用した、人に優しいサービスの提供



来庁を不要とする行政手続きの推進

新たなプラットフォームを活用した手続きの確立

マイナンバーカードの普及・活用の推進

SNSを活用した相談窓口、情報発信の推進

利用者に優しいUIの設計

ビジョンの計画期間

令和3年10月11日(デジタルの日)から総務省の自治体DX推進計画の終期に合わせ、令和8年3月までとしますが、国や県の動向およびデジタル技術環境の変化に即したビジョンとして推進を図るため、適宜見直しを行います。

また、確実かつ効率的に実行していくために、アクションプランを策定し、進行を管理するとともに、適宜見直しを行います。

利用者が身近に感じられるデジタル環境の整備



市民のデジタルリテラシーの向上

オープンデータの充実

行政におけるキャッシュレス決済導入の推進

デジタルを活用したシティプロモーションの推進

Wi-Fi環境の整備

高い利便性と信頼性を両立した信頼される行政運営



情報システムの標準化・共通化

職員のデジタルリテラシーの向上、意識改革

AI・RPAを活用した安定的な行政運営の確立

テレワークの活用、バックオフィスのデジタル化

セキュリティ対策の徹底